

## 第 421 回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

※本研究会は医学系研究科 博士課程の単位認定セミナーです

日時：2026 (令和 8) 年 5 月 11 日 (月) 18:00~

場所：Zoom によるオンライン開催のみ

※Web による参加方法は別紙をご確認ください

急性期栄養療法の整理：最適投与と Refeeding hypophosphatemia

大阪けいさつ病院 山田 知輝 先生

急性期栄養管理は ICU 診療において極めて重要な治療介入の一つである。日本集中治療医学会による急性期栄養療法ガイドラインの発刊によりエビデンスは体系的に整理されたが、その ICU 現場における運用については、依然として各施設で試行錯誤が続いている。

急性期栄養管理の基本として、①早期経腸栄養、②適切なエネルギー投与量、③タンパク投与量の最適化という“3つの柱”がある。早期経腸栄養は予後改善に寄与するとされる一方で、ショック期における腸管虚血リスクとのバランスが課題となる。エネルギー投与量は過少・過剰双方のリスクを有するが、その最適域はいまだ明確ではなく、間接熱量測定を用いた個別化戦略の有用性が近年注目されている。また、これまで推奨されてきた高用量タンパク投与が、必ずしも予後改善につながらない可能性も示唆されており、この点についても再検討が求められる。さらに近年、ICU 診療における Refeeding hypophosphatemia (RH) が予後悪化と関連することが指摘されており、その発症には基質選択や投与戦略が関与する可能性が示唆されている。

本講演では、急性期栄養療法に関する既存エビデンスを踏まえ、その限界と未解決課題を整理するとともに、今後の研究および臨床応用の方向性について議論する契機とした

い。

※大阪大学大学院医学系研究科 生体統御医学講座 麻酔・集中治療医学教室

世話人：集中治療部門 助教 副部長 小山 有紀子 [ykoyama@hp-icu.med.osaka-u.ac.jp](mailto:ykoyama@hp-icu.med.osaka-u.ac.jp)

---

次回第 422 回 CNC は、消化器外科 II 山下 公太郎先生のお世話で 2026 (令和 8) 年 8 月 10 日 (月) 18:00~開催予定です。

## オンラインによる参加方法について(今回はオンライン開催のみ)

参加ご希望の方は、下記 **URL 又は QR コードよりマイクロソフトフォームズにアクセス**していただき、参加登録をお願いいたします。

後日、事務局より入力いただいたメールアドレスに参加方法についてのご案内をお送りいたします。

※直接事務局にメールをいただいても参加登録にはなりません。

マイクロソフトフォームズへのご入力にご協力をお願いいたします。

- 申し込み先：<https://forms.cloud.microsoft/r/GfPDCMjVjG>



- 申込締切：2026（令和 8）5月10日（日）23：00 まで

※学生の方へ

オンラインで実施する研究会における出席票の司会者確認印は指導教員印で良いものとされています。

問い合わせ先：大阪大学臨床栄養研究会（CNC）事務局  
内分泌・代謝内科学 企画室内  
TEL：06-6879-3732 FAX：06-6879-3739  
[jimu@endmet.med.osaka-u.ac.jp](mailto:jimu@endmet.med.osaka-u.ac.jp)